

令和6年度 日野市立仲田小学校経営重点計画				自己評価シート				令和7年3月公表				
★学校教育目標				◎すすんで学ぶ子　○からだをきたえる子　○思いやりのある子　○さいごまでやりぬく子				★重点計画の概要				
★目指す学校像（ビジョン）				『地域がステージ・学びの変革』プロジェクト ○コミュニティ・スクールとして、保護者・地域・学校が一体となって児童を育成する。 ○学校運営協議会と連携し、地域資源を活用した地域と連携した学び（地域が学びのステージ）を推進する。 ○地域と連携し、探究的な学びにより、学びを深める								
【目指す児童・生徒像】				①基礎的、基本的な知識及び技能を習得し、それらを活用して、自ら見出した課題を思考力、判断力、表現力を活かしながら課題解決をする児童。また対話や情報等を活用して、意欲的に学ぶ児童。②自らすすんで基本的生活習慣を整える児童。健康の保持・増進や体力の向上に励む児童。③「いのち」の尊さ・素晴らしさを自覚し、自分も他人も、動物も植物も、そのいのちを大切にしている児童。④①～③の目標達成に向けて、努力をする児童。自分のいまやるべきことを自覚し、最後まで成し遂げる児童。								
【目指す学校像】				○児童一人一人がいのちを大切にし、可能性を伸ばしていく学校　　○教職員が向上心をもって学び、日々の教育実践に励む学校　　○保護者、地域が信頼をよせ、地域と共に歩む学校								
【目指す教師像】				○児童一人一人を大切にし、児童理解と指導力をすすんで学ぶ教師　　○児童や保護者、地域の思いや願いを受け止め、寄り添って考え、課題解決に取り組んでいく教師 ○組織（チーム仲田小）として協働する教師　　○新たな試みにチャレンジし、自己変革を続ける教師								
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策			
				評価点	取組指標		評価点			成果指標		
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	○確かな学力の定着と、主体的・対話的で深い学びの充実を図る教育活動を推進する。	●基礎的、基本的な知識・技能の習得と、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力の育成を図る。 ●「主体的・対話的で深い学び」を目指した学習指導の工夫を推進する。	◎1時間のねらいを全員が達成する授業づくりを推進する。 ◎研究主題「地域がステージの教育活動～主体的・対話的に課題を探究していく児童の育成～」に向けた研究を推進する。探求的・協働的な学びを推進し、授業改善を図る。 ◎一人1台端末を効果的に活用し、個別最適な学び、対話的な学びを推進する。 ◎学校図書館司書と教員が連携した授業づくりを行い、探究的な学びを深める。 ◎児童のつまずきに応じた指導・支援・環境の整備に努める。 ◎放課後補習教室「けやき教室」の活用を図り、確かな学力の定着を推進する。	3	4	90%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。		3	4	90%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。		委員評価3,2 ・文科省の方針と思うが、少人数指導や教科担任制等で、担任の裁量が難しくならないような配慮を願う。小学校のよさは、担任と子供とのふれあいが濃密であることを大切にしていってほしい。 ・確かな学力の定着を問う児童への質問項目において、4年生以上のクラスで4と回答した児童の数が減少した。上学年は学習内容も難しくなってくるので、基礎的、基本的な知識の習熟をさらに図っていく必要がある。
	3	80%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			3	80%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
2	70%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。		2		70%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。							
1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が70%未満だった。		1		児童アンケートで肯定的な評価をした児童が70%未満だった。							
	○基本的な生活習慣作りと健康な体作りを推進する。	●自らすすんで健康の増進と体力・運動能力の向上に努め、生涯を通して運動やスポーツに親しむ態度を養う。	◎「楽しさ」と「高まり」を実感する体育授業を工夫する。 ◎意図的に多様な運動を一定期間重点化し、持久走ウィーク、縄跳びウィーク等、日頃から児童が運動に親しむ機会を設定し、日常的に運動に親しみ、体力向上及び健康増進を図る。 ◎家庭や地域と連携して、望ましい食習慣や基本的な生活習慣の確立、創意工夫を凝らした食育の充実を図り、生涯にわたる健康づくりの基礎をつくる。	3	4	90%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。		4	4	90%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。		委員評価3,6 ・基本的生活習慣作りについては、家庭にも随時協力を求めていくと良い。 ・持久走ウィーク等の体育的行事は、児童の運動に対する主体性を伸ばしていると思う。先生たちが子供たちの頑張りを褒めてくれるのも良い。
	3	80%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			3	80%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	2	70%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			2	70%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が70%未満だった。			1	児童アンケートで肯定的な評価をした児童が70%未満だった。						
	○自他の「いのち」を大切にし、思いやりの心を育む教育活動を推進する。	●「いのちの尊さ」を実感し、自他のいのちを大切にしようとする思いや考えをもつことができるようにする。 ●一人一人の児童理解に努め、児童の思いに寄り添い、自己肯定感・自己有用感を伸ばす教育を実践する。	◎「特別の教科 道徳」の授業を意図的・計画的に実践し、考え、議論する道徳授業を通して、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための道徳の実践力を養う。 ◎行事、各教科等で計画的に「いのちの尊さ」を意識した取組を行い、自他の「いのち」を大切にすることを育む教育活動を実践する。 ◎児童の教育的ニーズに応じたきめ細やかな特別支援教育の充実を図る。 ◎児童のよさをほめて伸ばす教育活動を推進する。	4	4	90%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。		3	4	90%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。		委員評価3,4 ・子供たちの「今」に寄り添い、向き合う時間を大切にしていってほしい。 ・先生方は、とてもよく子供たちと向き合い、熱心に指導されていると思う。そのことを、保護者にもぜひ知ってもらいたい。
	3	80%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			3	80%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	2	70%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			2	70%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が70%未満だった。			1	児童アンケートで肯定的な評価をした児童が70%未満だった。						
	○安全・安心な環境を作り、児童の安全に関する意識を高める。	●危機管理・安全指導計画に基づき、学校、地域における安全確保の徹底と児童自身の安全に関する意識の向上を図る。	◎ふれあい月間の取組や、いじめアンケート等を活用していじめの早期発見に努め、学校いじめ防止基本方針に基づき、スクールカウンセラーやSSW、巡回心理士等と連携しながら組織的に対応する。 ◎避難訓練、安全指導、安全点検、通学路点検、交通安全教室、自転車安全教室、セーフティ教室、防犯教室、SOSの出し方教室、薬物乱用防止教室、情報モラル指導等を計画的に行い、安全管理と事故防止の徹底を図る。	4	4	90%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。		4	4	90%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。		委員評価3,0 ・担任が何らかの理由で任務が遂行できなくなったときの対応が難しい。どの学校も同じような状態かもしれないが、教育委員会などで、全体での対策は議論されているのか。 ・特定の学年児童の落ち着きが無いように思う。学校だけでなくにもならないときは、ぜひ保護者や学校支援ボランティア、PTA等に声掛けをし、支援を要請してほしいと思う。
	3	80%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			3	80%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	2	70%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			2	70%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が70%未満だった。			1	児童アンケートで肯定的な評価をした児童が70%未満だった。						
	○学校、家庭、地域社会が協働し、地域とともに創る教育活動を推進する。	●地域の環境や人材を活用しながら豊かな体験活動を実践し、児童が実感的に学習する学びを創意工夫する。 ●児童が地域の方々と活動することを通して、自己有用感を感じたり、地域で様々なことを感じ、自分の生き方を考えたりしていけるようになる。	◎児童が豊かな学びを体験できるように、各学年、各教科等の年間指導計画等に基づき、外部専門家や学習支援ボランティア等を積極的に活用した教育活動を企画し、推進する。 ◎児童が学ぶ楽しさ、おもしろさを実感できる体験学習等を取り入れ、地域の自然環境やボランティア、専門家等の人材活用を図り、創意工夫した授業実践を行う。 ◎児童が地域のひととともに活動することで、社会性や地域に対する郷土愛を育む。「蚕の飼育体験」「桑の枝の皮を使った紙漉き体験」等に取り組む。	3	4	90%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。		3	4	90%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。		委員評価3,6 ・地域の歴史や文化財を調べることも楽しくなると思う。 ・子供たちと地域とのつながり、地域と先生たちとのつながりが薄れている中、地域で育む学校運営業務は難しくなっている現状があるのではないかな。
	3	80%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			3	80%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	2	70%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			2	70%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が70%未満だった。			1	児童アンケートで肯定的な評価をした児童が70%未満だった。						
社会と未来に関き、みんなでつくる	○集団の一員、社会の一員としての自覚と協同性を育む教育活動を推進する。	●望ましい人間関係の形成をはかり、社会へ参画しようとする意欲を高める。	◎異年齢集団によるたてわり班活動や清掃活動等の奉仕活動を重視し、児童相互の交流を活発化することを通して、集団の一員としての自覚や互いに協力し思いやりのある態度と実践力を育成する。	4	4	90%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。		4	4	90%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。		委員評価3,3 ・6年生のSDGSフィールドワークで、自らゴミを拾う姿が見られた。社会の一員として望ましい行動を取ろうとする姿勢が育ってきていると思う。 ・各学年とも、特別活動の行事を通して、集団の一員としての自覚が育ちつつあるように思う。
	3	80%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			3	80%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	2	70%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			2	70%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。						
	1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が70%未満だった。			1	児童アンケートで肯定的な評価をした児童が70%未満だった。						
					4	90%以上の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。			4	90%以上の児童が、児童アンケートで肯定的な評価をした。		委員評価3,3 ・児童質問項目で、4または3と答えた児童が約83%であった。一方、2または1と答えた児童が約13%おり、高学年において2と1の割合がやや多いクラスが見られた。互いに協力し思いやりのある態度を育てるため、異学年交流は引き続き活性化させていく。合わせて、高学年のリーダーシップも支援し、育てていく。

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。